バシフィックホテル盛岡
PACIFIC HOTEL MORIOKA
盛岡市中央通1-13-55 TEL.019-625-3000

麺や 栄華 らがん
盛岡市中央通1-9-8 TEL.019-651-8882

こだわりのとんこつ醤油 佐々木家 盛岡大通店
盛岡市大通3-2-4 エルビル1F TEL.019-654-5772

昼はラーメン 夜はサカバ 横山チャンチキ 酒場
盛岡市内丸5-1 TEL./FAX.019-625-6161

沖縄の台所 てぃあんだー
盛岡市菜園2-6-27 フロンティア菜園2F
TEL.090-658-8560

drug Information & pharmacy
どんぐり薬局 たかまつ
盛岡市高松3-11-23 TEL.019-661-6995

杜陵高速印刷株式会社
盛岡市川目町23-2 盛岡中央工業団地 TEL.019-651-2110

We Love IWATE がんばろう岩手

● 取材にご協力いただいた皆さま ●

ネッツトヨタ岩手本社中央店様、ホンダカーズ岩手茶畑店様

取材こぼれ話や独り言などなど 編集後記… 第75号

今回の取材を通して感じたことは『新しい車はいいなあ』ってこと。昔はドレスアップする楽しみがあったけど、今はそのままでも充分魅力的な車になってる感じがします。残クレなどで買いやすくもなっているし、いい時代になりましたね。新車欲しくなりました。 (う)

ソファーのクッションを直そうと屈んだら、ギックリ腰やっちゃいました。辛かった…。ヨーロッパのほうでは前触れもなく突然襲ってくるので「魔女の一撃」って言われているそうですが、この言葉を考えた人、凄いですね! (よ)

取材で車の試乗をさせてもらいました。最新の車の性能が良いのはもちろん、快適・安全に運転できる機能がつまっているんだなぁと実感しました。同ランクの車でもそれぞれ違いがあって楽しかったです。車選びはデザイン重視でしたが、乗り比べも大事なんだなと勉強になりました。 (ち)

今回の応募者プレゼントは「縁日」にちなんだTシャツ。おなじみのアイテム達がプリントされています。先輩に「トルネードポテトだけクオリティが凄い!」と評されました。他の誰?と思いつつ…、気になるそこのあなた、ぜひご応募ください! (き)

「で、がんす。」では皆さまからの情報・ご意見をお待ちしております。
本紙で取り上げて欲しいネタや情報がございましたら、Eメールまたは、ハガキで編集部までお気軽にお寄せください。E-mail_iwate@designoffice-clip.co.jp
右のQRコードからもアクセスできます。

75号 2017.春号 | これ読んで 10分後には「現地人」 | で、がんす。
発行元 clip 有限会社クリップ
盛岡市南大通1-15-7 南大通ビル1F
TEL.019-651-6311 FAX.019-651-6312
FREE 4・7・10・1月発行
情報誌「で、がんす。」は、杜陵高速印刷株式会社で印刷されています。

■タイトルの「で、がんす。」とは…

タイトルの「で、がんす。」は盛岡弁で「イヤイヤガンス」(とはとうございます)「イヤデガンス」(こんばんは)など、「ーで、がんす」という風に、ことばの後について使われる言葉です。盛岡では多くの人が親そであるこの言葉から、親しみやすさを持っていただき、また、一目でローカルな地域情報を発信しているこの雑誌でしたが、一部の年代層をターゲットとするのではなく、多くの年代の方々にご覧ていただくことを目指しています。

スッソトヨタ岩手この春お勧めの1番手は、トヨタが「世界戦略SUV」と銘打ち大々的に売り出している「C-HR(シー・エイチ・アール)」。スッソでは「RAV4」の後継車という位置付けだが、ホンダヴェゼルで火が付いた「コンパクトSUV」市場に殴り込みを掛けた車なのだ。「格好」に妥協しないというだけあり、確かにカッコイイ。スチールドアを多様するなど、価格以上の印象を受ける。重心の高さを余り感じないだけでなく、SUVであることを忘れるくらい「スポーティ」である。乗った印象はプリウスが「1台で全てをこなす車」なら、C-HRは「非日常を愉しむ車」と言えそうだ。パワーユニットはエンジンの排気量が1.8L でモーターの出力も高いため力強いが、ハイブリッドでは4WDが選べないなどがマイナス点。この車は岩手の金ケ崎工場で生産・出荷されており、プラプと共に岩手生まれのトヨタ車である。自動ブレーキを含めた安全装備「T・S・S・P(トヨタ・セーフティ・センス・P)」も装備し、安全面でも抜かりが無い。コンパクトSUVクラスに新たな価値を投げかけるトヨタの自信作だ。

ヴェゼルが「1台で全てをこなす車」なら、C-HRは「非日常を愉しむ車」と言えそうだ。パワーユニットはエンジンの排気量が1.8L でモーターの出力も高いためか力強いが、ハイブリッドでは4WDが選べないなどがマイナス点。この車は岩手の金ケ崎工場で生産・出荷されており、プラプと共に岩手生まれのトヨタ車である。自動ブレーキを含めた安全装備「T・S・S・P(トヨタ・セーフティ・センス・P)」も装備し、安全面でも抜かりが無い。コンパクトSUVクラスに新たな価値を投げかけるトヨタの自信作だ。

「ヴェゼル」は3年連続SUV販売台数No.1という称号が与えられたモデル。SUVも各メーカー魅力あるモデルが揃っているクラスだけに、せ売れているのか興味津々だったが、実車を見て納得。ヴェゼルの良さはデザインだけでなく、そのパッケージングにある。セダンタイプのスタイリングながらもSUVテイストを感じさせるデザインに、使い勝手を全くスキが無く、コンパクトの視点で徹底的にパッケージングされている。見た目はコンパクトSUVだが、室内空間は大人4人が乗車しても窮屈さを感じさせないほどの広さを確保。荷室容量も十分に確保されており、ゴルフバッグ4つを積載することが可能。後席シートバックを倒すことで荷室容量をさらに拡大することができる。

SUVだが、中身はセダンクラス上のSUVを凌駕する。1.5Lの直噴エンジンとモーター重事を愛じさせない力強さ。スポーティーなドライブフィールも捉えるホンダ・ヴェゼル。安全運転支援システム「HONDA SENING」も選べ新型車が出ても尚、色あせない魅力を放つ1台だ。